

文芸年ぶりがわ

短歌

【岩瀬短歌会】

いつの日か宇宙に帰る我が身なり欲望捨てて自然に生きむ 兒玉廣子

白菜に天道虫が冬籠り気づかず剥せば生き生きと飛ぶ 大関登志子

三年へて実生より育ちし花桃の今年の咲分け楽しみに待つ 瀧井幸子

デジタル化について行けない齢なりゆつくりじつくり自分を生きる 川崎邦子

バデバデのばん馬の如く走りたるその日から僕は「バデさん」と呼ばれる 瀧田勇

遅咲きの父母のもとに生れて愛の深さも確執も見き 小林美瑛子

誕辰に次男坊から電話あり孫等が成人するまで生きてと 鈴木英雄

裏辻の蕾多なる山茶花の健気な生にしはし向き合う 久保悦子

霧深く視界の悪き朝戸出は早目に出よと子らに声掛く 雨谷友子

突然に教え子達から長電話六十年目のカプセル開くごと 泉三郎

ピーマンでビタミン不足を補ふと雪深き酸ケ湯の男衆は言ふ 広澤日出子

泣き笑い共に生ききし五十年子等から贈らる伊勢志摩の旅 仁平千代

顔見知りとはったり会つても名が出ないあいつち打ちつつその場をしのぐ 渡辺しな子

衣に食に週に一度の生協は五十余年を支えくれたり 浜野和操

新しく着物誂え初釜を待つとスマホに友は言いくる 大久保富美江

俳句

【茂山俳句会】※兼題「雨水」「公魚」テーマ句「明」ほか当季雑詠

公魚よ富士山の雪いつ解くる 宮本立夫

東風吹かば波の謡曲桜川 金子弘毅

かたくりの群れ咲く筑波の登山道 酒寄誠

酒粕のわき立つ句ひしもつかれ 深谷誠一

針供養明るく和む古き友 海老沢幸子

田荘の土のふくらむ雨水かな 渡部千恵子

診断は尤もらしげの春の風邪 相田ひろし

春時雨遠くの空の明るさよ 植竹ふみ

筑波野の尻尾現はす雨水かな 海老沢静夫

草萌や慣れぬ草履のばたばたと 君島真理子

【一般投稿】傘寿や望みを立てて学びけり 長堀芳江

園服のケチャップの染みに木の芽風 小林衛子

投票日大雪となり出足にぶ 佐都志

節分に幼き子等と菓子をまく 登美子

夢叶う正装姿で豆をまく 比呂子

むくむくと大地掻き分け水仙花 浅賀順子

俚謡

【やぐら俚謡会】

元氣早苗を早植え育て秋にや豊作盛る国 山もみじ

差のある暮らしはフトコロだけで春の陽満遍なく満ちる 花野しげる

何のことやらおいらのことをシユツとしている醤油顔 みーちゃん

祖父の期待を背負った孫が遊び投げ出すランドセル 田哲人

陸・海・空・宇宙のテーマパーク

ユメノバ

宿泊、バーベキュー

下館ゴルフ倶楽部

4/5(日)まで 陶芸の匠東西展

4/8(水)から 文化勲章受章画家大山忠作展

廣澤美術館

自然・健康・文化の郷(まち) ザ・ヒロサワ・シティ

TEL0296-21-1234

